

令和元年度 事業報告書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

特定非営利活動法人 ART BASE百島

1 事業の成果

令和1年度の主な活動として、毎年開催している秋の展覧会の実施に加え、離島という特殊な環境のなかで有意義な情報交換や知識を得ることのできる対話イベント「百代の過客」を開催。約2ヶ月の会期で850人が訪れた。

2017年から改修を進めていた「乙1731-GOEMON HOUSE」ではキッチンが完成。ランチの提供が可能になり、来場者やツアー客が利用した。

新たなプロジェクトとして、2017年に閉鎖した尾道市役所旧百島支所を改修し、展示会場として公開。廃屋を再生するプロジェクトとしては3件目となり、将来的にはゲストハウスとしての再活用を目指す。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (単位：千円)
文化芸術に関する展覧会、ワークショップ、イベントの実施に係る事業	美術作家を招聘し、展覧会と全3回の対話イベント「百代の過客」を開催。	10月-12月	百島町	20	来場者 地元島民 853	11,750
文化芸術に関する展覧会、ワークショップ、イベントの実施に係る事業	上記展覧会の会期外で通年、廃校を活用した美術館や島内に点在する空き家を活用した展示施設を公開した。	通年	百島町	3	来場者 地元島民 263	2,377
文化芸術に関する国際交流に係る事業	交流人口増加と海路でのアートツーリズム促進を目的とした国内外からの団体ツアーの受け入れを行った。	通年	百島町	5	団体ツアー客 90	50
文化芸術活動の拠点整備に係る事業	約40年空き家となっていた民家を「乙1731-GOEMON HOUSE」として改修し、展示会場としての公開と、ランチ販売を実施。旧百島支所を展示会場として公開するとともに、将来的なゲストハウスとして改修を行った。	通年	百島町	10	来場者(ランチ利用者含む) 地元島民 150	5,545

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)

注1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載してください。

2 2の(1)については事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載してください。

3 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載してください。

4 2の(2)については事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載し、該当する事業を行わなかった場合は記載する必要はありません。

5 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

【活動計算書】

科 目		金額
(収入の部)	I 経常収益	
	1. 受取会費	0
	2. 受取寄付金	21,081,070
	3. 事業収益	1,962,786
	経常収益計	23,043,856
(支出の部)	II 経常費用	
	1. 事業費	
	(1)人件費	
	謝金	1,534,471
	臨時雇賃金	2,913,920
	人件費計	4,448,391
	(2)その他経費	
	印刷製本費	509,976
	旅費交通費	151,900
	消耗品費	17,960
	車両費	808,374
	修繕費	12,719,600
	通信運搬費	1,065,877
	その他経費計	15,273,687
	事業費計	19,722,078
	2. 管理費	
	(1)人件費	
	役員報酬	0
	人件費計	0
	(2)その他経費	
	水道光熱費	1,559,715
	食材費	0
	消耗品費	986,038
租税公課	71,000	
通信運搬費	0	
賃借料	120,000	
旅費交通費	441,600	
雑費	168,115	
その他経費計	3,346,468	
管理費計	3,346,468	
	経常費用計	23,068,546
(当期収支差額)	当期正味財産増減額	△ 24,690
(前期繰越収支差額)	前期繰越正味財産額	4,239,934
(次期繰越収支差額)	次期繰越正味財産額	4,215,244

【貸借対照表】

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	70,000
普通預金	4,145,244
流動資産合計	4,215,244
資産合計	4,215,244
II 負債の部	
1 流動負債	
前受金	0
未払金	
流動負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
前期正味財産	4,239,934
当期正味財産増加額	-24,690
正味財産合計	4,215,244
負債合計と正味財産合計	4,215,244

財産目録

2020年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 Art Base 百島

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高			70,000
普通預金			4,145,244
流動資産合計			4,215,244
2 固定資産			0
固定資産合計			0
資産合計 (A)			4,215,244
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			0
流動負債合計			0
2 固定負債			0
長期借入金			0
固定負債合計			0
負債合計 (B)			0
正味財産 (C)=(A)-(B)			4,215,244

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 ①の部分には、財産目録を会計ごとに区分して作成する場合には、「特定非営利活動に係る事業」、又は「その他の事業」と記載し、それぞれ別葉として作成する。(ただし、財産目録については会計ごとに作成せず、法人単位に作成することも考えられる。その場合、この書類の題名は、単に「財産目録」となる。)
- 3 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。
- 4 科目等は貸借対照表と同じでも、法人の資産と負債の各科目毎に、その内容、数量等、より詳細に表示する。
- 5 「正味財産」の額は、貸借対照表の「正味財産合計」と一致する。